

◆ 特集 おひなさまと「食」

雛壇には、姫君の「衣」「食」「住」に関わる様々な御道具が並びます。今回は「食」のひな道具にちなみ、鍋島家に伝わる和・洋の食器をご紹介します。



左、「色絵草花文珈琲茶碗」 有田大樽窯・平林伊平作 明治2年(1869)～20年代
右、「黒漆塗黒餅紋散膳部揃」 12代夫人鍋島禎子所用 明治時代



ひなまつり期間限定！ 徴古館オリジナル丸ぼうろ

当館学芸員による、ゆる～い「次郎左衛門雛」のイラストが焼印されています。お土産にどうぞ！



◆ おひなさまが佐賀城へ！

2月17日(金)～3月12日(日)

9:30～18:00

於 佐賀城本丸歴史館

佐賀城本丸歴史館の大広間に小中学生の手作りのおひなさまが並ぶ「子どもびなの宴」。この期間中、徴古館のおひなさまが佐賀城に里帰りします！
当時佐賀城で飾られていたと考えられる左大臣・右大臣のお人形や、かわいらしい丸顔の次郎左衛門雛などが「子どもびなの宴」を応援します。



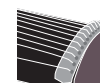
左、「右大臣・左大臣」 江戸時代後期 右、「次郎左衛門雛」男雛:13代夫人鍋島紀久子所用 明治時代／女雛:朝香宮鳩彦王所用 江戸時代末期

◆ 週末の催し物(2階／土・日・祝日)

期間中の土曜・日曜・祝日には、和の文化に親しむイベントを2階で開催いたします。

1階展示室の「鍋島家の雛祭り」展を観覧後に、ぜひお立ち寄りください。

※入館料が必要です。※感染症対策のため、予定が変更となる場合がございます。



お箏の音色(無料)
演奏:箏曲穂波会 11時～15時



茶花展示会(無料)
主催:松風会室町御流 永沼峰汀

ほか 寄贈を受けたおひなさまの展示
ひなまつり関連パネル展示



鍋島家の雛祭り

2023年
2月11日(土)～3月21日(火) 会期中無休

- 開館時間:10時～17時(入館は16時30分まで)
- 入館料:500円(中学生以下無料／高校生から大学院生は学割適用で400円)
※「佐賀城下ひなまつり」共通券(800円)で、徴古館と佐賀市歴史民俗館の両方を観覧できます。
- 会場:徴古館(佐賀市松原2丁目5-22／佐嘉神社西隣)
※感染症対策のため、予定が変更となる場合があります。最新の情報はHP等でご確認下さい。
※館内では消毒や検温、換気などの感染症対策を行っております。また、体調のすぐれない方はご来館をお控えください。



☎ お電話でのお問合せ
0952-23-4200
(公益財団法人鍋島報効会)

HP



SNS



◆ ご利用案内
開館時間:10時～17時(会期中無休)
入館料:500円(中学生以下無料)
※「佐賀城下ひなまつり」共通券(800円)で、歴史民俗館エリア(400円)も観覧できます。高校生から大学院生まで学生割引もあります。

◆ アクセス
長崎自動車道 佐賀大和ICから市街方面へ車で20分
松原公園駐車場(徴古館前)等近隣の駐車場をご利用ください。

JR佐賀駅から徒歩約20分
佐賀駅バスセンターから、市営、昭和、祐徳の各バスで…
◇「県庁前」下車、東へ徒歩2分
◇「佐嘉神社」下車、西へ徒歩1分

☎ 0952-23-4200
✉ info@nabeshima.or.jp
https://www.nabeshima.or.jp
SNSでも情報発信中！

徴古館
The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA



栄子さまの大雛壇(長さ6m)

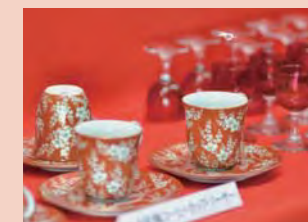


紀久子さまの大雛壇(長さ5m)

◆ ながこ 栄子さまのおひなさま

公家・廣橋胤保の娘 栄子さまは、明治14年(1881)に11代直大公の継室としてイタリアで結婚。優しい顔立ちの有職雛や次郎左衛門雛、ユーモラスなブランコ乗り人形、ワイングラスやコーヒーカップなど洋風の雛道具も見どころです。

有職雛



コーヒーカップ・ワイングラス



毛作り人形



花車曳き人形



ブランコ乗り人形



◆ 横長の大雛壇

明治20～30年頃に東京・永田町の鍋島邸日本館で撮影された古写真。横長の大雛壇に雛人形や雛道具がずらりと飾られています。徴古館では、この古写真の様子にならった3段の大雛壇飾りをご堪能いただけます。

◆ ていこ 禎子さまの銀製雛道具

侯爵・黒田長知の娘 禎子さまは明治33年(1900)に12代直映公と結婚。雛人形は伝来していませんが、江戸時代後期～明治時代に作られた176点もの純銀製の雛道具が遺されています。文房具や化粧道具などバリエーション豊かで、思わず見入ってしまう精巧さです。



禎子さまの雛人形(伝来していません)



扇形棚



基盤 実寸大

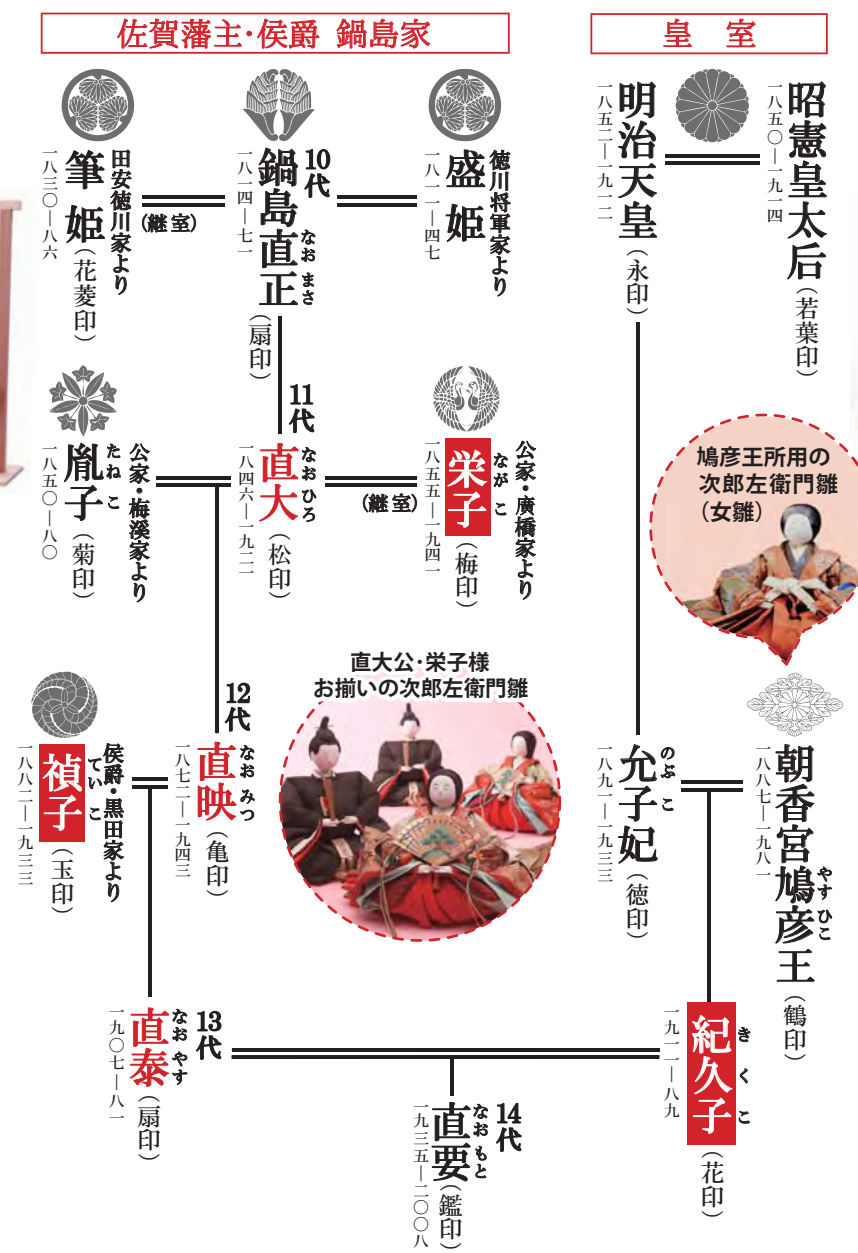


花手桶



銀製雛道具の飾りケースです

関係略系図



◆ きくこ 紀久子さまのおひなさま

朝香宮鳩彦王の第一王女 紀久子さま(明治44年生まれ)は、昭和6年(1931)に13代直泰公に降嫁。端正な顔立ちの有職雛や三人官女、五人囃子・楽人、箏弾き人形などは、表情や衣装、仕草にもぜひご注目ください。家紋入りの御道具類はご結婚時に詠えられたものです。

有職雛



箏弾き人形



三人官女



五人囃子(雅楽)



鯛曳き人形



朝香宮家の家紋を丸くアレンジした金蒔絵の御道具



◆ 特別な「御台人形」

御台人形は、宮中において初節句などの慶事の折々に、皇族の子女のみが賜る御人形です。木製の台の上に、稚児のほか松竹や鶴亀など吉祥の動植物を配しているのが特徴です。右の御台人形は、明治44年(1911)9月12日に生まれた紀久子さまが同年の10月30日、初参内の折に明治天皇より拝領されたものです。

鶴亀松竹菊底雛鶏遊御人形

